

共同運営部門：相談支援室・がん相談支援センター

一 関係部署一

がん相談支援センター
看護局
医療マネジメント課

【構成】

がん相談支援センター長兼外科主任部長	位藤 俊一
医療マネジメント課長	林 一彦
看護師	飛野 悦子
ソーシャルワーカー(MSW)	下村 恭子

一 概要一

【業務の特色】

当部門は大阪府指定のがん診療連携拠点病院のがん相談支援センターであり、当院の患者さんや地域住民に対し、国立がん研究センター認定のがん専門相談員2名(看護師及びMSW)が、がんの治療や療養生活の不安、悩みに対して、情報提供や相談支援を行っている。相談は面談や電話で行い、費用は無料である。また、がん以外の疾患や受診科相談等も行っており内容は多岐に渡っている。年間の相談件数は約1,700件であり、疾患の内訳は「がん」が53%、「がん以外・不明」は47%でほぼ半数ずつである。

患者さんが抱える不安は、がんの診断前、がんと診断されたとき、治療、副作用、医療費、在宅医療、介護のこと等多様であるが、看護師とMSWが連携して医療-生活-心理面を情報共有し、問題点を見極めて必要な支援を行っていることから、患者さんは早期から治療や療養の方法を知ることができる。治療と社会生活を維持するための情報提供として、抗がん剤の副作用で脱毛に悩む場合はウィッグの試着や、がん関連書籍の貸出を行っている。

また、がんの治療後に当院とかかりつけ医が治療経過を共にみていく「がん地域連携パス」を患者さんに説明して安心して在宅療養できる体制を構築している。

がんに限らず様々な疾患の相談を聴く中で、患者さんが抱えている問題の特徴は、疾患そのものの不安の他、医療費の問題、医療従事者に言いづらいといったコミュニケーションの問題が多い。したがって患者さんが悩みや葛藤を打ち明けて気持ちが楽になれる、気軽に相談に訪れることができる場を保証することも当部門の大切な役割である。

一 実績一

① 2015年度 相談件数 (延べ) (件)

相談員職種	看護師	938
	ソーシャルワーカー	828
合計		1,766

患者さんの状況 (件)

当院	1,105
他院	209
受診医療機関なし	21
不明・その他	484
合計	1,819

相談方法 (件)

面談	1,290
電話	474
FAX・メール	11
合計	1,775

疾患 (件)

がん	1,069
がん以外・不明	939
合計	2,008

がんの種類 (件)

眼・脳・神経	7
耳鼻咽喉頭	17
食道	8
胃	67
大腸・小腸	192
肝・胆	69
すい臓	34
肺・縦隔・心臓	53
乳房	309
子宮・卵巣	16
前立腺・精巣	54
腎・尿管・膀胱	14
甲状腺・副腎	10
リンパ・血液	162
骨	33
皮膚	1
中皮腫	15
肉腫・腹膜・後腹膜	7
原発不明	1
合計	1,069

相談内容 (件)

病気に関すること	治療・検査	140
	症状・副作用・後遺症	46
セカンドオピニオン		64
治療実績		4
受診方法や入院		102
がん予防・がん検診		3
療養方法	転院	136
	医療機関の紹介	70
	在宅医療	92
	ホスピス・緩和ケア	82
症状・副作用・後遺症への対応		121
食事・服薬・入浴・運動・外出等		127
介護・看護		160
仕事・就労等社会生活		27
医療費・生活費		214
補完代替療法		0

心理的な相談	不安	241
	告知	4
	医療者との関係	121
	患者－家族間との関係	96
	友人・知人・職場との関係	9
患者会の情報		13
受診科の相談		272
がん地域連携パスに関すること		184
その他		438
不明		126
合 計		2,892

② セカンドオピニオン件数

※相談支援室/がん相談支援センターでの受付件数

診療科	件数	疾患名
外科	8	乳がん(6) 大腸がん(1) 後腹膜神経原性腫瘍(1)
脳神経外科	1	脳出血(1)
血液内科	1	急性リンパ性白血病(1)
合 計	10	

③ 大阪府がん診療連携協議会・相談支援センター部会

2015.6.24、2016.3.5

大阪府内の国指定と府指定のがん相談支援センターががん相談業務の質の向上と均点化を目的に協議した。

④ 泉州がん診療連携協議会 がん相談支援部会

2015.5.19、2015.8.18、2015.12.15

泉州二次医療圏の8施設のがん相談支援センターが相談業務協議、事例検討等を行う。就労支援を目的に泉州圏域ハローワークを情報収集し連携窓口を確保した。

⑤ 泉州がん診療連携拠点病院 がん相談支援部会の合同講演会開催

泉州二次医療圏の8施設のがん相談支援センターが共催で、地域住民ががんの正しい知識を持ち、社会にある誤解や不安を解消し適切な医療を受けることを目的に毎年合同講演会を開催している。

2015.10.24 第6回 泉州がん拠点病院 合同講演会 国指定の市立岸和田市民病院で年1回開催
テーマ「緩和ケアを正しく理解しよう」
① 緩和ケアの正しい知識 市立岸和田市民病院 緩和ケア内科
② 医療用麻薬の正しい知識 市立岸和田市民病院 がん性疼痛看護認定看護師

2015.6.6 第4回 泉州がん拠点病院 合同地区講演会 大阪府指定のがん診療連携拠点病院が輪番で年1回開催
場所 大阪府立母子保健総合医療センター
テーマ「小児がん」
① 子どものがんは治せるの？ 大阪府立母子保健総合医療センター
② 小児がんの子どもの入院生活ってどんなだろう 大阪府立母子保健総合医療センター
③ 入院中も学校で勉強ができるんだ 大阪府立羽曳野支援学校

⑥ 研修会・フォーラム

内 容	参加者
Eラーニング 国立がん研究センター 平成27年度がん相談支援センター相談員基礎研修1.2 知識確認コース	看護師 飛野悦子
Eラーニング 国立がん研究センター 平成27年度がん相談支援センター相談員継続研修認定取得コース	MSW 下村恭子
2015.8.8～8.9 国立がん研究センター 平成27年度がん相談支援センター相談員基礎研修3	看護師 飛野悦子
2015.11.14 大阪府がん診療連携協議会相談支援センター部会「がん相談員のための就労に関する基礎講座Ⅲ」産業医、社会保険労務士等の講義	看護師 飛野悦子 MSW 下村恭子
2016.1.23 近畿相談支援フォーラム in 近畿 「がん患者団体とがん相談支援センターとの連携・協働について」講演、グループワーク	MSW 下村恭子

⑦ 国立がん研究センター「認定がん専門相談員」

当部門がん相談員(2名)が国立がん研究センターにおける相談員カリキュラム基準を満たし「認定がん専門相談員」に認定された。(期間は2016～2018年度)

—今年度の成果と反省点—

相談支援における成果としては、相談員が患者さんと同じ目線に立ち、社会背景や個別性を尊重、配慮しながら支援を実践したことで、患者さんの気持ちが前向きに変化していったり、自分自身で治療や生き方を選択していく過程を肌で感じる事ができた。

働くがん患者さんの支援については離職しないサポートについて検討する必要がある。

—来年度への抱負—

引き続き患者さんや地域住民向けにがん医療の啓発活動をしたり研修会に参加し、治療と社会生活が両立できる支援に取り組みたい。また、がんに限らず全ての疾患において、困ったときに気軽に利用していただけるよう相談支援室/がん相談支援センター全体の周知広報をしていきたい。